

那須さんぽ

No.23

いいところ見つけた！
美野沢の義経伝説史跡めぐり！



那須町の東部に位置する美野沢の里(梓、養沢、大畑地区)は、源義経伝説にまつわる史跡が数多く残されています。

養沢の彼岸花群生地を南下、梓地内には、義経一行が武運を祈り御幣を奉幣したとされる「御幣石神社」があります。

県道伊王野白河線を北上すると、義経の愛馬のひづめの跡があるとされる「杓石」が県道脇にたたずんでいます。

この先にある「矢の根石」は、弁慶が「わが願ひ吉ならば、この石に立てよ」と石に矢を押し込むと刺さったという石で、美野沢地区地域づくり委員会が昔



美野沢地区地域づくり委員会により復元された矢の根石



福島との県境にある追分明神

からの言い伝えの場所に復元したものです。

さらに進むと岩が何枚も重なり合い、弁慶が「具足のようだ」と称し名が付いたとされる「具足岩」や、福島県との県境には、義経が奥州平泉から頼朝挙兵に呼応し鎌倉へ上る途中、平家追討の祈願をしたと伝えられる「追分明神」があります。

美野沢地区地域づくり委員会作成の「美野沢ふるさと名所」マップを道の駅東山道伊王野や伊王野支所などで入手できます。美野沢の里を歩いて、歴史ロマンに触れてみてはいかがですか。※史跡周辺には駐車場がありませんので、お出かけの際はご注意ください。

案内図



「那須さんぽ」コーナーでは、町のいいところを紹介し、あなたがこ一番と思う、魅力ある場所をぜひご紹介ください。また、広報那須の「表紙」と「こんにちには赤ちゃん」コーナーの写真を随時募集しています。詳しくは総務課広報広聴係(☎72-6901)まで。

かっこう

1月27日、八溝山を取り囲む栃木、福島、茨城3県にまたがる2市6町を一つの圏域とする八溝山周辺地域定住自立圏形成協定の合同調印式が大田原市で行われました。3つの県にまたがる定住自立圏の取り組みは全国でも初めてです。調印式では、中心市である大田原市長と連携市町長が協定書を取り交わし、

圏域全体で必要な生活機能を確保し、人口定住の促進を図るため、互いの連携・協力を約束しました▼現在、全国的に人口の減少と少子化・高齢化が進み、特に地方においては、今後その傾向は顕著になると見込まれています。都市部への人口流出を食い止めるため、総務省が全国的に推進しているのが「定住自立圏構想」です▼那須町の人口を見

7,800人ほどだった人口(住民基本台帳人口)は、今年1月1日現在26,769人となり、この5年間で約1,000人減少しています。人口流出定住促進は大きな課題となっています▼今回の協定に基づく具体的な取り組みは今後検討していくこととなりますが、新たな広域連携のもと、住民の皆さんが安心快適に暮らすことのできる地域づくりに向け、確かな一歩を踏み出しました。

こんにちには赤ちゃん



かめい はると
亀井陽翔くん(新黒田住宅)
平成25年2月18日生
(父 健太さん 母 あずかさん)
笑顔のカワイイはるくん。お兄ちゃんと仲良く元気に成長してね!



きくち りつ
菊地 律ちゃん(上町)
平成24年10月12日生
(父 一秋さん 母 沙織さん)
おさんぽが大好きな律は、三輪車にもまたがり「押して!」といつもリクエストして大変です。

町の世帯と人口

(1月1日現在・住民基本台帳)

・世帯数 10,047世帯 (前月比) (+1)
・人口 26,769人(男 13,221人 女 13,548人) (-27) (-13) (-14)